



組合員の購読料は
組合費に含まれます

荒川区西日暮里2-55-1
国鉄労組東京地方本部
発行責任者 石上浩一
編集責任者 常盤達雄

No.1716 定価
15円

2009年

11月5日

**国労加入呼びかけ
ポスター募集集中**
二〇一〇年一月末まで
A4サイズで

組織拡大 報告熱く語られる 第60回定期地方大会を開催

一〇月一〇日(一日)に発明会館で行われた第六〇回定期大会は、前回大会以降一二名の組織拡大という各地区本部・支部・分会の頑張りを受け、多くの代議員から様々な組織拡大への取り組みの発言があった。その他、総選挙での民主党圧勝を受けて、不採用問題の政治的解決や平和の問題も語られた。もちろん職場労働条件改善への取り組みも各代議員から出され、これからの一年間で更に一歩前進させようと思慮統一がされた。

また、さまざまな会社施策が進むにつれて多くの課題が発生しており、エルダー制度による子会社での労働条件改善や交渉を求める声、乗務員区再編に伴う運協・運転協再編への意見、安全・安定輸送に対する発言なども多く出されていた。大会はこれからの一年間こうした様々な課題を全体で取り組むことを決意しあった。

(代議員の発言の内容は次号)

一〇月一〇日・一日、都内・発明会館において第六〇回定期地方大会が開催された。

山本副委員長の司会により一三時に始まり、常盤教宣部長より資格審査報告が行われ、代議員四八名中四六名、執行部一七名中一六名の参加により大会が成立していることが宣言された。続いて、議長に桐山代議員、副議長に岡田代議員(いずれも新橋支部)を選出。

議長団あいさつ、執行委員長あいさつ、来賓あいさつ、祝電メッセージ披露、国労東日本本部・本部からの報告、国労弁護団からの報告、国労議員団の紹介が行われた。続いて議事に入り、大会期日の延期承認提案、選挙管理委員会設置提案、経過報告および二〇〇九年度運動方針(案)の提案、組織検討委員会報告、協約協定締結承認提案が行われ、経過・組織報告・協約協定に関する質疑に入った。



新執行部

- 執行委員長 石上浩一 (総括)
- 執行副委員長 稲荷靖 (総括補佐、法対部長、企画担当)
- 書記長 松川聡 (企画部長、総務部長、業務部長)
- 執行委員 鎌田博一 (財政部長、企画担当、業務担当)
- 執行委員 宮崎浩則 (組織部長、企画担当、教宣担当)

- 執行委員 海老原悟 (調査部長、組織担当、教宣担当)
- 執行委員 常盤達雄 (教宣部長、組織担当、調査担当)
- 執行委員 中沢和夫 (政治部長、組織担当、法対担当)
- 執行委員 山田博樹 (副対部長、業務担当、教宣担当)
- 執行委員 横倉一夫 (業務担当、組織担当、政治担当)
- 執行委員 恒本肇 (業務担当、法対担当、組織担当)

- 執行委員 岡野嘉明 (組織担当、教宣担当、調査担当)
- 会計監査員 広瀬裕二
- 会計監査員 千代村直孝
- 会計監査員 谷川春男
- 青年部長 松尾郁弥 (青年部総括)
- 婦人部長 阿部美津子 (婦人部総括)

含めて拍手で承認された。続いて二〇〇八年度決算報告、同承認が行われ一日目の議事が終了した。
二日目は九時再開。来賓あいさつ、東京闘争団原田団長からの特別発言のあと運動方針に対する発言が午前中行われた。発言は斎藤(新橋)・金子(新橋)・相川(八王子)・相田(大宮)・南沢(中央)・松本(神奈川)・神蔵(新橋)・青木(上野)・富田(神奈川)・古沢(新橋)・星川(八王子)・伊東(大井工)・乾(上野)・保科(八王子)・曾我(新橋)・湊(神奈川)・小川(新橋)・堀内(神奈川)・前田(大宮)の一九名から行われ、松川書記長の答弁も含めて満場の拍手で承認された。

選挙管理委員長から新執行部・新地方委員の発表(別掲・次号)。決議二本と大会宣言の採択。議長団退任あいさつ。石上委員長のあいさつ・団結ガンバローで終了した。

組織拡大表彰

- 神奈川地区本部
- 東京貨物ターミナル駅分会
- 中野電車区分会
- 東戸塚駅分会

今大会において、山本久・副執行委員長、石井富男・執行委員、佐藤正一・会計監査員が退任されました。長年のご活躍お疲れ様でした。

大会集約 松川書記長



組織強化拡大。方針で一九名のうち一二名が組織強化拡大の取り組みを発言。各級機関で最重要課題に。八王子で加入した仲間が言ったことは、国労組合員の仕事に対する姿勢を見て加入。地本が素晴らしい方針だけを提起しても加入はしない。組合員が一生懸命取り組んでいる姿、日常の世話役活動をしている姿を見て、加入して行く。相川代議員から、取り組みに満足ではなく、呼びかけをと。共通認識は出来上がり、議論が分会末端まで伝わるかが勝負。最後の一言を言える組織体制にしよう。執行部にプロジェクトチームを引き続き設置。更に新入社員対策、フレッシュマンセミナー、組織拡大労働条件経験交流集会を集約の場として取り

「一〇四七名不採用問題」は、すでに二三年を迎える。「四者・四団体」と共に政治的・全体的解決に向け、昨年の「一〇・二四中央大会」の成功や、国会議員への要請行動などを粘り強く継続し、政府・与党に決断を迫ることを基本に、大衆行動を展開し、解決に向け世論・環境を大きく促進させてきた。

今年の「二・一六集会」には与党・公明党を含む民主・共産・社民・国民新党の代表が出席し「人道・人権の問題として解決に努力しよう」と呼びかけられ、これを背景に与党・自民党に働きかけ窓口を設置、全会派による政治的合意を形成する政治環境の道筋が確立された。

第四五回衆議院選挙は、自民党に国民の厳しい審判が下され、民主党が三〇八議席を獲得する歴史的な総選挙となった。鳩山新政権は、民主・社民・国民新党の連立内閣であり「政局に絡めず、人権・人道問題として解決すべき」との与野党代表の態度表明を生かし切り、勝利に向けて取り組み

組む。労働条件改善、安全、安定輸送を求める闘い。事故が多発し非常事態宣言。関係省庁から警告や指導が三回。原因の一つは効率化やシステム化。JR東日本で二三年間に実に二一〇〇名を超す要員削減。斉藤代議員からは休日出勤の問題、南沢代議員も技術継承の問題を指摘。前田代議員から保線における事故の状況。原因の二つ目としては差別。仕事や技術は二の次。代議員からの発言でも、一部労組に偏重の労務施策が残っているとの指摘。この中で技術継承が滞った。分会の議論を基本に要求確立し、改善を求める基本的な運動に立ち、安全・仕事総点検で改善を。今後ホームドア設置や東北縦貫などの施策。その中で、安全、安定輸送を確立するためにも業務検証委員会を引き続き行う。

JR不採用事件解決を求める闘い。福田先生や原田闘争団長から報告があったが、最終局面。横浜人活訴訟は一月二二日に判決。六年前に最高裁判決が出された日でもある。複数の代議員からも、大衆行動を展開して欲しいという意見。地本としても全力。今後は、抗議的な大衆行動ではなく、解決環境を整え

を強化する。「横浜人活訴訟」の判決日が確定し、「国労訴訟」も結審を迎える。公正な判決を求め、署名行動を展開する。総選挙結果を受け、「解決の年」へ政治対策の強化に全力を上げる。JR会社の安全・安定輸送は、会社との健全な労使関係と対等な労使の自覚と責任

を強化する。「横浜人活訴訟」の判決日が確定し、「国労訴訟」も結審を迎える。公正な判決を求め、署名行動を展開する。総選挙結果を受け、「解決の年」へ政治対策の強化に全力を上げる。JR会社の安全・安定輸送は、会社との健全な労使関係と対等な労使の自覚と責任

安全。安定輸送確立は 健全な労使関係から 執行委員長 石上浩一

なくしては成し得ない。重大事故が絶えず、輸送障害、運転トラブルが多発し、協力会社社員の死亡事故も続いている。

私たちは、会社が実施する施策の具体的な問題点について注意を喚起し、未然に防止する努力と再発防止を提言する。安全対策委員会・業務検証委員会などの取り組みを通じて、仕事総点検運動・安全総点検運

る大衆行動に。窓口と打ち合わせをし、過剰のない戦術、方法を確実に。何としても解決を図る。

平和と民主主義を守る闘い。政権交代を果たしたが、課題は山積。新政権に期待しながらも、護憲平和の立場からの取り組みを強める。インド洋給油問題、海賊対処法、原子力空母の問題、非核三原則の問題、貧困と格差憲法改正、挙げればキリのないほどの課題。来年は参議院選挙。護憲・平和・民主主義の立場に立った政党、候補者の勝利のために全力を挙げる。

動を定着させていく。安心して働きがいのある職場作りをめざし、労働条件の改善・教育・技術継承・人材育成などを会社にもとめることも労働組合の重要な役割だと考える。JR会社との「紛争和解の精神」を一層高度化させ、国労組合員が不公平感を感ずることのないよう全力を上げていく。

組織拡大の取り組みは、キーワードを「アクション」とし、組織対策プロジェクトを設置し、新採対策・復帰加入対策・ポスター・チラシなどの作成をはじめ、エルダー社員の継続、契約社員の組織化などの取り組みを展開してきた。職場と仕事の中心に国労がいるという意味を、再度お互いに確認し合い実践した。昨年の大会以降、二名の仲間たちの国労への復帰・加入を生み出した。若い仲間たちは「もう一人を国労へ」と決意し、「最後は国労で退職をしたい」という先輩方の熱い決意もいただいた。

最後に、政権もチェンジし、マニフェストの実践、国民が安心して暮らせる社会・医療・年金・介護の社会保障、雇用問題などの政策実践が問われる。私たちは、平和と民主主義、憲法擁護に向けて全力をあげ、一気呵成とはいかなくとも、着実に粘り強く、運動の先頭に立って奮闘する決意を申し上げ、挨拶とする。

各委員会 (◎印は責任者)

- ◆戦術委員 ◎松川、稲荷、鎌田、宮崎、横倉、山田
- ◆組織検討委員 ◎松川、稲荷、鎌田、宮崎、(新橋) (上野) (大井工場) (神奈川地区本部) (八王子地区本部) (大宮地区本部)
- ◆全国組織検討委員 石上
- ◆全国財政専門委員 鎌田
- ◆地方本部財政専門委員 ◎鎌田、(新橋) (上野) (大井工場) (神奈川地区本部) (八王子地区本部) (大宮地区本部)
- ◆合理化対策委員 ◎松川、鎌田、宮崎、常盤、中沢、横倉、山田、恒本
- ◆宿舍対策委員 ◎松川、横倉、山田
- ◆労災・職業病対策委員 ◎松川、鎌田、宮崎、山田
- ◆東京支社交渉委員 ◎松川、鎌田、横倉、山田、(新橋) (上野) (大井工場)
- ◆東京支社経営協議会委員 ◎松川、石上、稲荷、鎌田、海老原、横倉、山田、(新橋) (上野) (大井工場)
- ◆東京支社苦情処理委員 ◎松川、稲荷、鎌田、山田 (補欠)

第二〇回へら鮎釣り大会

一〇月一三日、第二〇回国労東京へら鮎釣り大会が、群馬県板倉町柳生フィッシングパークにおいて一七名の参加で行われた。結果は次の通り。



- ◆東京支社簡易苦情処理委員 ◎松川、鎌田、稲荷 (補欠)
- ◆東日本本社交渉委員 松川
- ◆東日本本社経営協議会委員 石上
- ◆東日本本社苦情処理委員 (補欠) 松川、稲荷、鎌田、山田
- ◆貨物会社関東支社交渉委員 奥村、平田、吉田
- ◆貨物会社関東支社経営協議会委員 松川
- ◆JRバス関東会社経営協議会委員 松川、自動車3名
- ◆JRバス関東会社交渉委員 松川、自動車4名
- ◆JRバス関東会社苦情処理委員 自動車3名
- ◆JRバス関東会社簡易苦情処理委員 自動車2名
- ◆交通共済東日本事業本部 運営委員、石上
- ◆東京地評 石上、稲荷、中沢、横倉
- ◆東京交通労働協石上、松川、中沢、横倉
- ◆東京全労協 石上、中沢、横倉

医療の進化にあわせた、アフラックのいちばん新しい「がん保険」です。

生きる気持ちに、本気で応える
アフラックのがん保険

「生きる」を創る。
Affac

アフラック (アフラックファミリー生命保険会社)
東京第二法人営業部
〒113-0456 新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル
Tel.03-3344-1459 Fax.03-3344-4036

〈募集代理店〉
アベニール 株式会社
電話 03-3437-6810 ファックス 03-3437-6822
〒110-0004 東京都港区新橋3-15-6 交通ビル3F
(取り寄りの品あり)

〈財〉国鉄労働会館東京地方部
TEL 054-2548 FAX 03-3806-9275
電話 03-3806-9264
〒110-0013 東京都荒川区西日暮里2-35-1

資料請求いただいたお客様の個人情報の利用目的は、アフラックの各種商品やサービスの案内・提供・維持管理となります。

©詳しくは、「パンフレット (契約概要)」や「ご契約のしおり・約款」をご覧ください。 AF104-2008-0124 4/18/10